

Ja-Net

January 2012 No. 60

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

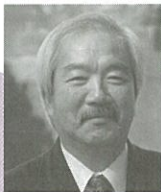
Contents 目次 2012年1月25日発行

- View from the Other Side 3
ガリレオ・ユセコさん (オーストラリア)
- あちこち日本語ご紹介〈国内編〉..... 4
福島県郡山市
- あちこち日本語ご紹介〈海外編〉..... 5
ケニア ナイロビ
- 教材紹介 6
『みんなの日本語 初級1 第2版 本冊』発行のお知らせ
『いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教室 初級2』
『シャドーイングで日本語発音レッスン』
- なんでも情報 BOX 8

スリーエーネットワーク

巻頭
寄稿

一緒にやろうよ、日本語教育



大津由紀雄

慶應義塾大学 言語文化研究所 教授

2011年度に小学校の新しい学習指導要領が本格実施されたのを皮切りに、中学校、高等学校の学習指導要領も順次、新たなものが導入されていきます。その新しい学習指導要領の重要な柱になっているのが「ことばの力」の育成です。

ことばは人間だけに与えられた宝物で、さすがのチンパンジーでもことばの世界だけは踏み入ることができません。単語は覚えられても、文を組み立てることができないからです。それにもかかわらず、ことばがあまりにも身近な存在であるからでしょうか、断片的に論じられることはあっても、その本質についてのきちんとした議論を前提にしたうえで、教育におけることばの重要性を正面きってとりあげられた論考の数はさほど多くはないと言わざるをえません。とくに、子どもたちにとっての母語(生まれてからしばらくの間、触れていることによって自然に身についた言語)の力を教育という文脈でどのように育んでいくべきなのか、また、育まれた母語の力をどう生かせばよいのかという問題についての本格的な議論の欠落が以前から大いに気になっていました。

その意味で、新しい学習指導要領が「ことばの力」の育成をその中核の一つに据えた

ことは大いに評価できます。加えて重要なのは、その育成は国語科や外国語科のようにことばを直接の対象とする教科だけでなく、道徳などの領域や学校での諸活動なども含めて「教科横断的に」なされるべきであるという考えが採られたことです。

私事で恐縮ですが、新しい学習指導要領の作成に先立って(実際は、平行して)言語力育成協力者会議という重々しい名称の会議が文部科学省によって立ち上げられ、わたくしもその委員を仰せつかりました。その会議には各教科を代表する方々や学校教育・言語教育に造詣の深い方々が委員として参加しました。会議自体は非常に有意義で、わたくしなどはたくさんのお話を学ばせてもらいました。しかし、梶田叡一座長の手慣れた会議捌きにもかかわらず、議論はあちこちに飛躍し、8回の充実した会議を経ても最終報告書をまとめるには至りませんでした。

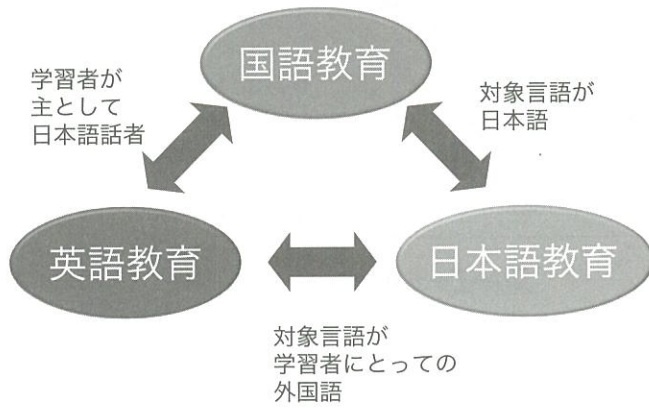
その理由は多数あり、また、多様でもあるのですが、わたくしは「ことば」、あるいは、「ことばの力」というものの捉え方が委員ごとにもあまり異なっていたからというのが根本にあると考えています。実際、「ことば」ということばは「ことば」が持つさまざまな

側面のどの面に重きを置くかによって、教育との関係も多様に変化するからです。

わたくし自身はどうかというと、生成文法と呼ばれる、ことばの認知科学を研究してきたこともあって、ことばの仕組みと働き、とくに、その個別性と普遍性の関係に強い関心があり、教育との関連でも、その視点から考えることが重要だと考えています。

ちょっと解説しましょう。ことばは日本語、英語、スワヒリ語、日本手話などの形で現れます。この意味での一つ一つのことばを「個別言語」といいますが、個別言語はそれぞれ個性を持っていて、それをことばの「個別性」と呼びます。

ことばが持つ、もう一つの大切な性質が「普遍性」です。つまり、すべての個別言語は共通の基盤に支えられているという性質です。これは、どの個別言語も脳が母語として対応できるということを考えると、さほど不思議な性質ではありません。事実、音声面で言えば、すべての言語音は(概ね)母音と子音という二つの類のいずれかに分類されます。また、統語面(文などの言語表現の形式的側面)で言えば、すべての個別言語は主節に従属節を埋め込むという仕組みを持っており、この仕組みは繰り返し適用



することができます。

わたくしは、教育に関わる方々が、ことばが個別性と普遍性を持つことをしっかりと理解していただければ、ことばの教育の姿はだいぶ変わったものになると考えています。とくに、普遍性という視点があれば、これまで何度となく連携の必要性が叫ばれていながら、日の目を見ずに終わっている、国語教育と英語教育の連携も、そのための基盤が得られることによって、実現の可能性が出てきます。

これまでの連携の試みがうまくいかなかったのは、その基盤となるものが不明確だったからだとわたくしは考えています。普遍性という明確な基盤を得て、国語教育と英語教育を考えれば、連携しないことが不思議なほどです。

たとえば、おなじみ、英語の三人称単数現在、通称「三単現」を考えてみましょう。John walks to school every day. の -s です。なぜ walk に -s がついているかを理解するためには、「(文)の主語」「人称」「数」「動詞」「時制」などの概念が身につけていないといけません。念のために付け加えておけば、ここで必要なのはあくまで「概念」であって、「文法用語」ではありません。

多くの中学生が三単現のあたりでつまづきますが、理由はこれらの概念が身につけていないからです。大切なことは上にあげた諸概念は言語に普遍的に認められるもので、英語だけでなく、日本語でも機能しているという点です。ですから、英語の学習に先立って、母語である日本語でこれらの概念を身につけておけばよいのです。

まず母語でと考えるのは、母語に対しては直感がきくからです。直感がきく母語を使って、文法概念を意識的に捉えておく。

そのうえで、英語の学習をすれば、自然に英語の文法が身につきます。

でも、連携すべきは国語教育と英語教育だけではありません。ここで、日本語教育の登場と相成ります。国語教育と日本語教育はその対象が日本語という明白な共通点を持っています。日本語教育は外国語としての日本語の教育、国語教育は母語としての日本語の教育です。日本語教育が蓄積した、日本語の構造や機能についての知見と学習者への提示の方法は理論としての日本語学には敷居の高さを感じる国語教育関係者にとっても格好の情報源となるに違いありません。

たとえば、日本語教育における動詞の活用についての捉え方、提示の仕方はそれをどう料理するかは別にして、国語教育に関わるものにとって大いに考えさせられると思います。実際、大学生向けの言語学入門などでこの話題を取り上げると、学生たちの多くは目を輝かせます。日本語が使えるのにどうしてあんな活用表を覚えなくてはならないのか合点がなかった学生たちがたくさんいるからです。ことばのおもしろさや奥深さに気づかせるのに格好な素材だと思います。

逆に、日本語教育、とくに、中級者から上級者向けの文学素材の扱い方などについて国語教育から学ぶところがたくさんあるはずです。わたくしはずっと以前に半年だけハーバード大学の東アジア学科で上級日本語を教えたことがあるのですが、そのときは日本の高等学校の国語教育での実践例を大いに参考にさせていただきました。

日本語教育と英語教育はその対象が学習者にとっての外国語という共通点を持っています。ことばという視点があれば、対象となっている外国語が何語であっても、普遍

性を介して、両者を連携させることができます。事実、そういうもくろみがまったくなかったというわけではなく、長く日本語教育に携わってきたかたが書いた学習英文法書もあります。米原幸大『完全マスター英文法』(語研、2009年)がそれです。また、日本語教育の専門家である横溝紳一郎と當作靖彦が編集する「日本語教師のためのTIPS 77」(くろしお出版、刊行中)というシリーズなどは英語教師が読んで大いにためになります。同じ横溝がある英語教師の実践を跡づけた『生徒の心に火をつける --- 英語教師田尻悟郎の挑戦』(教育出版、2011年)などは、逆に、日本語教師が読んで益するところが大きいと思います。

ということで、「一緒にやろうよ、日本語教育」と相成る次第です。

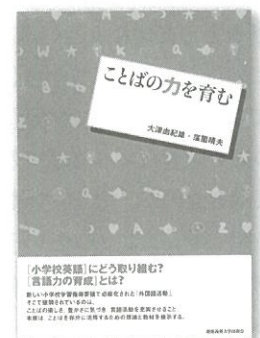
【野暮な付け足し】「一緒にやろうよ、日本語教育」というタイトルは「日本語教育よ、国語教育と英語教育と連携して言語教育という世界を一緒に作り上げよう!」という読みも、「みんなで一緒に日本語教育を実践しよう!」という読みも可能です。わたくしの直感では、文脈がないと後者が圧倒的に優勢な読みなので、途中で「あ、違う読みなんだ」と気がつくという宮沢賢治を気どったトリックをもくろんだのですが、いかがでしたでしょうか。

大津由紀雄(おおつ・ゆきお)

慶應義塾大学言語文化研究所教授、慶應義塾大学大学院社会学研究科(教育学専攻)委員、日本学術会議連携会員。

専門は言語の認知科学(言語獲得、統語解析、理論脳科学)、言語教育、科学教育。

著書に「ことばの力を育む」(共著)、『小学校での英語教育は必要か』『日本の英語教育に必要なこと』(編著、以上慶應義塾大学出版会刊)、『探検! ことばの世界』(ひつじ書房刊)、『英文法の疑問一恥ずかしくせずと聞けなかったこと』(NHK出版刊)などがある。



『ことばの力を育む』大津由紀雄 窪園晴夫 著
慶應義塾大学出版会 2008年

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

I LOVE ふくしま

JET プログラムで福島県郡山市で活動中のガリレオさんに書いてもらいました。



ガリレオ・ユセコ オーストラリア

JET プログラム英語指導助手 (ALT) として 2008 年 7 月に来日。2008 年 1 月、札幌のホームステイをきっかけに日本語学習をはじめ、2010 年 12 月の試験で日本語能力試験 N2 に合格。シドニーの音楽大学を卒業、専門は現代作曲と電子音楽。納豆も梅干しも大丈夫。バスケットボールが好き。今、八匹のカメちゃんを飼っているシドニー出身の 25 歳。

文化について勉強になってしまいました。毎日のようにオーケストラや吹奏楽団の練習があって、最初はつらかったですが、慣れてきて日本が楽しくなってきました。

福島に来た時の中学校 1 年生たちが卒業の日をむかえた 3 月 11 日、東日本大震災の日、突然人生が変わりました。中学校の卒業式が終わり、小学校の謝恩会を行っていました。先生方と 6 年生たちと体育館にいました。謝恩会をやめて、雪がいっぱいの校庭に避難しました。

私のまわりから「どうなるの?」「死にたくない!」と聞こえてきました。「大丈夫だよ」と子供たちによく繰り返していましたが、実は私もどうなるか全く分かりませんでした。夜に親に電話で「とりあえずここにいたい。どうなるか神様にお任せしますので、どう

か祈ってください。」と言いました。迷っていました。どうすればいいか誰も答えをくれませんでした。悔しくて悲しかった。

次の日に、清掃などの手伝いを町の避難所でした。「何でもいいので、ボランティア活動をやらせてください。」と強くお願いして、その地域の先生たちと避難所で朝の勉強会を行いました。感動しました。このようにみんなが協力していて、仲良くしていて、互いに支援をしながら前向きに生きていました。

福島県では多くの被害が出ました。被災者の方々に何か出来る事があれば、と私は T シャツを作製しました。福島県の会津地方のロゴの「あかべえ」をハートマークのようにした、「I LOVE 福島」という T シャツです。4 月から 8 月までオーダーを受けて、福島県災害対策本部に 1,230,570 円を寄附しました。その後で集まったお金は今度、東日本大震災ふくしまこども寄附金に送りたいと思います。

あの時は、多くの人々が何か福島のために活動をしていました。皆の優しさを感じて、本当に感動して、励まされました。

現在、福島の郡山に住んでいます。何とか「普段」という生活に戻りましたが、福島はまだ元気ではありません。あの時の残りがまわりに見えていっぱい傷に気づきます。とにかく、多くの福島県民は毎日どうにか頑張っていて、負けないように生きています。それは本当の普段通りの生活であり、生き方だと思っています。

これからもっと日本について学ぶと共に、私の経験をより多くの方と共有したいと思います。将来は指揮者になりたいと思っていますが、もっと色々な経験をしてこれからの人生に生かしていきたいと思っています。

日本での生活もう、3 年過ぎました。考えるとびっくりです。しかも、3 年という期間を全然感じていません。私の今までの経験の中で決して忘れられない 3 年間です。

音楽大学を卒業したばかりで、「別な世界に行きたい、日本語を勉強してみたい、日本中あちこちを旅行したい」と思い JET Programme に申し込みました。結果をとっても長い間を待ちましたが、少なくとも 1 年間日本に住むことが決まりました。「受かった!」と信じられませんでした。

来日前はワクワクしていましたが、緊張と不安も感じていました。なぜかという、決まった住所を Google Maps で調べてみると出てこなかったからです。「楽しみだね。(とはいえ) どういう所?」と心配でしたが、来日は実現しました。

福島に着いてから 2 日目、早速、教育委員会と学習会に参加しました。「フィルハーモニック・オーケストラと一緒に演奏しませんか?」と誘われました。とても嬉しかったのですが、本番がその日だったのでとてもびっくりしました。メンバーに会ったこともなく、内容もわからず、日本語もあまり話せません。とりあえず、演奏が無事に出来て安心しました。初めて会った私を信頼して指揮をさせてくださり、とても嬉しかったです。また、このような交流は町民の方たちと仲良くなるいい機会でもあり、自分にとっても言語や文化の交流となりとてもいいものだと思い始めました。それで、様々な活動に参加していきました。

毎日、学校に英語を教えに行って、色々な部活動を回っていました。特に管弦楽部とバスケットボール部でした。毎週火曜日の夜、楽しみにしていたのは、ボランティアとしておばあちゃんたちの英会話教室とお食事会の「Grandma Club」でした。実は逆に私にとって英会話より日本語と日本の



国内編
福島県郡山市



交流会にむけて水餃子試作会

多文化コミュニケーション の実践

国際交流の会・かるみあ会長 三田 眞理子

国際交流の会・かるみあは、福島県郡山市を中心に活動しています。主な活動内容は3つあります。互いの文化を学びあう国際文化交流活動、日本語の学習を通してお互いのコミュニケーションを深めあう日本語学習ボランティア活動、活動で学んだことを地域に発信する地域国際化協力活動です。郡山市社会福祉協議会のボランティアセンターに登録しているので、会場利用料の減免やコピー・印刷機の無料利用、教材などを保管するロッカー設置も認められ、恵まれた環境で活動しています。

◇日常生活が学習の素材

日本語学習ボランティア活動は、マンツーマンレッスンが基本です。運転免許取得を目指す人にやさしい日本語で問題を解説したり、小学校の参観日に向けて保護者会での挨拶練習をしたり、必要に迫られていることにも対応してきました。ベビーラッシュの際には、文化庁に応募して助成金を活用しながら幼稚園見学や小児科医を講師に迎えて託児付きの子育て講座を開催しました。

全体レッスンをすることもあります。最近では原発事故に対応した県民健康管理調査表を解説しながら記入の仕方を説明しました。チラシもまた生きた教材です。スポーツクラブのキャンペーン広告を題材に学習したところ、なんと入会希望者が多数集まり、一緒に運動に汗を流している状況です。原発事故の影響により屋外活動がままならず、運動不足が共通の悩みだったことが判明した出来事でした。

◇コミュニケーション重視

毎週月曜午前中という限られたレッスンで



避難所で子どもの教育支援プロジェクト実施(平成23年6月7日福島民友新聞掲載)

はコミュニケーションを重視しているので、学習を補うために教材を貸し出し、自宅での自律的な学びを勧めています。日本語能力試験に挑戦する方もたくさんいますが、試験に合格することがゴールではなく、日本語が上達しても学びたいことは尽きないようです。円滑な人間関係を築くことが目標のようです。教材だけでは学べない問題に対応するのが私たちの役割だと思っています。参加者が教室から飛び出し、持っている才能を発揮できる場を増やしていけるように願っています。

◇地域への発信

当会は、いろいろな文化背景を持つ人が集まって生活している地域社会において、それぞれの個性を活かせるコミュニティづくりを目指しています。その実現のため、外国出身者も日本人も同じ会員としてコミュニケーションを深め、一緒に地域に発信していく地域国際化協力活動を積極的に行っています。

今は小学校での交流会の準備をしています。「中国のお正月」というテーマで、水餃

子の試作会やクイズを持ち寄る検討会、進行のリハーサルを計画し、交流会に向けて日本語教室全体でスケジュールを調整しています。これまでも公民館や学校など公共機関での発信の場を積み重ねてきました。料理教室の依頼も多いのですが、料理だけではなくその国の文化について紹介する時間もいただけるように交渉しています。

◇会員ネットワークの重要性

今回の大震災で会員ネットワークの重要性を実感しました。メールでの安否確認、避難所や給水所の情報、多言語情報案内を提供することができました。原発事故の収束が見えない不安な状況の中、なんとか会場を探して4月末に活動を再開しました。欧州の会員OBからは被災地支援の申し出があり、応援メッセージカードを付け学用品を原発事故で避難してきた小中学生に届けました。出身国や他県へ避難した会員とは、今でも連絡を取り合っています。

今後も互いの文化を学び合い、絆を深めながら、多文化共生の地域づくりをめざして活動していきたいと思っています。



日本語ご紹介

海外編

ケニア ナイロビ



「ポレポレ」ケニアの日本語教育

国際交流基金日本語専門家・ 蟻末 淳
ケニヤッタ大学客員講師

ケニアの日本語学習者は1000人程。そのほとんどは入門レベルから初級レベルです。私の勤務するケニヤッタ大学では、年によりませんが、100人から200人ぐらいが日本語を学習しています。現在、入門レベルを二学期間開講しているのみで、引き続き日本語を勉強したい学習者の要望に残念ながら応えられていませんが、近いうちに、日本語を副専攻、更には主専攻として、履修できるように準備中です。また、同時に、ケニアで盛んな観光のサービスを専攻する学生にも、日本語の単位を提供しようという動きがあり、現地の需要に合った日本語学習の発展が期待されます。

◇Facebookを使って日本語に触れる

日本語の学習動機としては、経済発展、勤勉さなどと言った、日本に対しての漠然とした興味を挙げる学習者が多いのですが、よく話してみると、日本のアニメなどをインターネットなどで見て興味を持っている学習者も近年増えているようです。個人や家庭のパソコン・インターネット普及率は低く、ほとんどの学生は自分のパソコンは持っていないのですが、その一方で、携帯電話でのFacebookの利用は大変進んでおり、ほぼ100%利用していると言えます。学生からは、試験前になると次々とチャットなどで質問が舞い込みます。日本人の「友達」を作り、学習初期から、掲示板で日本語での会話を楽しんでいる様子を見ると、語学学習の新しい時代をこのケニアでも感じるすることができます。

◇「ポレポレ」の国、ケニア

さて、ケニアと言えば、「ポレポレ」の国です。「ポレポレ」というのは、英語と並ん



子供達の歌や踊りも弁論大会の楽しみの一つ



日本語入門の授業は満員御礼

でケニアの公用語であるスワヒリ語で「ゆっくり」の意味。我々日本人が、あくせく仕事をしようとしていると、すぐに「ポレポレ行こうよ」と声をかけられます。このポレポレぶりは、日常生活に浸透していて、学生も、授業開始時に半分も集まっていないことがよくあります。

反対に、何らかの事情で教員が遅刻した時、30分でも1時間でもポレポレ待ってくれます。事情があって、随分遅れて到着し、何度も謝る私に「先生、とても遅いですね～」と笑顔で一言。その後、学生は教室に入り、何もなかったかのように授業が始まります。こういうときはポレポレに助けられます。

このポレポレ感覚は、彼らが不真面目だから、という訳ではありません。ケニアの大学生は熱心で、早朝4時、5時に起きて、大学に行く前も勉強する学生も多いようです。ただ、発展が続くナイロビは慢性の交通渋滞。10キロの道のりに車で1時間以上かかることも普通です。そして、庶民はマトゥという小型バンの乗合バスを使うことが多いのですが、マトゥは人数が集まるまで発車しません。短距離ならまだ待ち時間は

少ないのですが、長距離の場合は1時間の道のりのために、発車まで1時間以上待たないといけないこともざらです。いつ発車するのかわからないのをみんなポレポレ待っているのです。

また、文化的理由もあります。私が持っているスワヒリ語のテキストには、例えば2時に待ち合わせをして、相手が2時59分に来ても、2時台に来ているのだから、遅刻ではない、と堂々と書いてありました。地方ではこの傾向はより強く、イベントなども、開始時刻の1時間から2時間後に始まるのが普通です。そして、その遅れを見越して皆が集まるということに…。

まずは、このポレポレに慣れることが、ケニアでは重要です。学習者には、ポレポレと自分のペースで、楽しんで日本語を勉強してほしいと思っています。

◇ケニアの日本語教育の発展のために

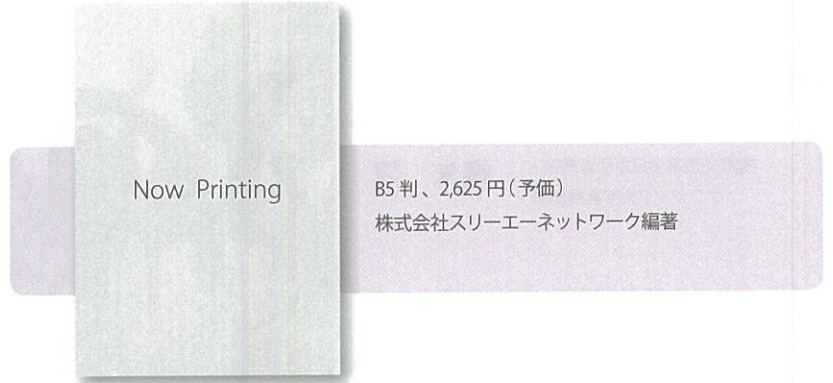
ケニアでは2006年からサブサハラアフリカ唯一の日本語能力試験が行われており、受験者は毎年100名を越えています。また、毎年、ケニア日本語教師会と日本大使館の共催による、日本語弁論大会が開催されており、日本語学習者の日頃の研鑽の成果を発表するとともに、歌や踊りなども演じられ、ケニアと日本の文化交流の重要な機会となっています。最近では、教師会主導での、日本語教育セミナーや、勉強会なども定期的に行われています。今後のケニアの日本語教育の益々の発展が期待されます。

教材紹介

『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 本冊』 発行のお知らせ

1998年に発刊して以来、多くの方々に
お使いいただいている

『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊』の
第2版を発行いたします。



Now Printing

B5判、2,625円(予価)
株式会社スリーエーネットワーク編著

1. 第2版の主な変更点

1) 「問題」と「会話」の音声CD付き

現在CDは別売となっていますが、「問題」および「会話」のパートの音声を収録したCDを本冊に添付します。

2) 語彙の見直し

最近ではあまり使われなくなった語彙を削除し、より使用頻度の高い語彙を追加します。また、本文の変更にともない、一部語彙の入れ替えがあります。

詳しくは別紙『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 本冊』語彙・表現の増減」の表をご覧ください。

3) 文型、例文、会話の見直し

現在ではあまり使われなくなった場面・表現を中心に見直しを行います。

文法のシラバスは現行版とほぼ同じです。

2. 価格と発行スケジュール

『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 本冊』

CD付 2,625円(予価) 2012年7月発行予定

『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 翻訳・文法解説 各国語版』

2,100円(予価)

● 英語版、中国語版、ドイツ語版は2012年7月発行予定、ポルトガル語版、スペイン語版、フランス語版、韓国語版は2012年10月発行予定。

『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 標準問題集』

945円(予価) 2012年7月発行予定

『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 書いて覚える文型練習帳』

1,365円(予価) 2012年7月発行予定

その他の周辺教材も随時発行していく予定です。

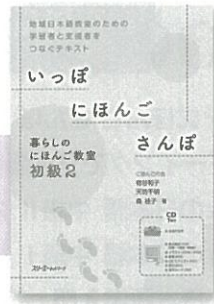
現時点では第2版発行後も現行版『みんなの日本語 初級』シリーズは継続して販売いたします。

[お問合せ] 営業広報部：03-5275-2722 sales@3anet.co.jp

※ 以上は2012年1月25日現在の情報です。次号61号でさらに詳しい情報をお知らせする予定です。

いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教室 初級2

B5 判約 240 頁、2,520 円
宿谷和子・天坊千明・森桂子 著



地域日本語教室のための、 学習者と支援者をつなぐテキスト

にほんごの会企業組合
宿谷和子

この本は『いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教室 初級1』に続く地域の日本語教室のための教科書です。

『初級1』はゼロスタートの学習者を対象とした教科書でしたが、『初級2』は日本語を少し学んだことのある学習者が対象です。そうは言っても地域の日本語教室に来る学習者は生活背景や日本語学習の仕方も様々です。皆さんの周りにも次のような学習者たちがいるのではないのでしょうか。

- ・日本語教室で勉強していたけれど、仕事が見つかったので途中でやめてしまった。忙しくて時間はあまりないが、やっぱりもっと勉強したい。
- ・ちゃんと学校や教室で勉強したことはないけれど、なんとか話せる。でも日本語の文法はよくわからないし、自分の日本語はどうも変らしい。
- ・教科書で勉強したけれど、周りの人の日本語がよくわからないし、なかなか話しかけられない。生活に役立つ日本語を勉強したい。漢字も勉強したい。

このような学習者が限られた時間でも楽しんで勉強でき、コミュニケーションの道具として日本語が習得できるようにとの思いでこの本を作りました。

『初級2』では、形容詞の過去形、動詞の「て形」「ない形」などの活用と、それらを使った初級文型(例「～ています」「～なくてもいい」)、また、条件の「～たら」、普通体なども学習します。そして、その文型を使って自分のことが話せるように、身近な場面やトピックでの練習をたくさん作りました。『初級1』と同様に、生活に役立つ情報や、日本の生活習慣なども紹介しています。

文字学習のページでは80の漢字が学習できます。絵で漢字をイメージすることで、自然と漢字学習に興味をもてるように工夫しました。CDには印刷して使える漢字カードが入っています。

初めて学習支援をする方にも使いやすく、わかりやすい本を目指しました。この本が地域の日本語教室の学習者と支援者のお役に立てることを心から願っています。

シャドーイングで 日本語発音レッスン

A5 判約 90 頁、1,470 円
戸田貴子 編著 大久保雅子・神山由紀子・福井貴代美・小西玲子 著



なめらかな発音を目指して

早稲田大学日本語教育研究科
戸田貴子

本書は、「シャドーイング」という練習方法を使った発音練習教材です。「シャドーイング」とは、聞こえてくる音声を一文が終わるのを待たずに、すぐさま繰り返す方法です。練習を通して、日本語のアクセント、リズム、イントネーションなどに親しみ、なめらかな発音を身につけることを目指します。

本書を使用し、シャドーイング練習に慣れたら、最終的には学習者自身が関心のあるニュース、ドラマ、アニメなどをテレビ、DVD、YouTube などから選択し、自律的に練習を継続していけるようになることを目指しています。

◆ 特徴

- ①発音の上達に必要な音声知識を得ることができます。
- ②自然でなめらかな発音を身につけることができます。
- ③日本文化、観光名所、ことわざなど、豊富な話題が盛り込まれており、発音練習をしながら、役立つ情報を得ることができます。
- ④音声特徴を視覚的に示しており、アクセントとピッチカーブを見ながら練習することができます。
- ⑤初級から中級の国内外の学習者を対象に作成されており、独学でも授業でも使用できます。

◆ 構成

本書は20課からなっており、各課の構成

は次のとおりです。

本文

文全体の声の高さの変化をピッチ・カーブ(曲線)とアクセント核(↘)で視覚的に示しています。

発音のポイント

学習者に発音の意識化を促すため、アクセント・リズム・イントネーション・縮約形などの発音のポイントをわかりやすく解説しています。

練習問題

「発音のポイント」で示した項目を練習することができます。

チェック/ノート

「チェック」では課で学習したことを復習し、確認します。「ノート」では役に立つ情報を補足しています。

授業の一部としても取り入れられ、独習者も無理なく使えるよう、1課あたり3～4ページ、10分程度で練習できるようになっています。

本書が「伝えたい内容がきちんと伝わる発音で日本語を話したい」という皆さんの学習の一助となることを願っています。



なんでも情報 BOX

Seminars セミナー

スリーエーネットワーク主催新刊説明会
『新完全マスター』シリーズ 名古屋・福岡・札幌会場

①『新完全マスター読解/聴解』

名古屋会場

日時：3月3日(土)

会場：トライデント外国語・ホテル専門学校8F(名古屋市中村区名駅4-1-11)

福岡会場

日時：3月10日(土)

会場：九州英数学館国際言語学院41番教室(福岡市中央区舞鶴1-5-30)

内容・スケジュール(両会場共通)

13:30 受付開始

14:00~15:10 講義1『新完全マスター読解』: 田代ひとみ(本書共著者)

15:10~15:20 休憩

15:20~16:30 講義2『新完全マスター聴解』: 中村かおり(本書共著者)

②『新完全マスター語彙/文法』

福岡会場

日時：3月17日(土)

会場：九州英数学館国際言語学院41番教室(福岡市中央区舞鶴1-5-30)

名古屋会場

日時：3月24日(土)

会場：トライデント外国語・ホテル専門学校8F(名古屋市中村区名駅4-1-11)

内容・スケジュール(両会場共通)

13:30 受付開始

14:00~15:10 講義1『新完全マスター語彙』: 伊能裕晃(本書共著者)

15:10~15:20 休憩

15:20~16:30 講義2『新完全マスター文法』: 友松悦子(本書共著者)

③『新完全マスター文法』

札幌会場

日時：4月28日(土)

会場：国際ホール(札幌市中央区北4条西4丁目1番地 札幌国際ビル8F)

内容・スケジュール

13:30 受付開始

14:00~16:00 『新完全マスター文法』: 友松悦子(本書共著者)

全会場共通

参加費：無料

定員：100名(先着順。定員になり次第、締切ります。)

Booksほん

すべて税込価格です

いっぽにほんごさんぽ 暮らしのにほんご教室2	3月発行予定	2,520円
シャドーイングで日本語発音レッスン	3月発行予定	1,470円
みんなの日本語 中級II 本冊	3月発行予定	2,940円(予価)
みんなの日本語 中級I 標準問題集	3月発行予定	945円(予価)
新しい日本語学入門 第2版	3月発行予定	1,890円(予価)

申込み：お名前・ご住所・ご所属・電話番号を明記の上、郵便、FAX、メールにてお申込みください(キャンセルの場合は事前にご連絡ください)。

問合せ/申込み：

スリーエーネットワーク講座係

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: kouza@3anet.co.jp

http://www.3anet.co.jp

102-0083 東京都千代田区麹町3-4トラスティ麹町ビル2F

主催：スリーエーネットワーク

(札幌会場 協力：北海道日本語教育ネットワーク)

丸善・スリーエーネットワーク研修会

2012年日本語教育セミナー

もしも…あなたが外国人に「日本語」を教えるとしたら —語彙編—

『もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』、『続・もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』、『とりあえず日本語で もしも…あなたが外国人と「日本語で話す」としたら』の3冊で、日本語学習者の方々に、どのように「日本語」をプレゼントするかを紹介してきた荒川准教授のセミナーです。

今回は、『語彙の教え方が分かれば教師が元気になる』⇒『語彙の使い方が分かれば学習者が元気になる』をテーマに、従来の授業ではあまり省みられなかった、語彙の指導や教え方について、実際の授業例と絡ませながら考えていきます。過去6回(!)の仙台ライブと同じように、今回も面白さ10倍、分かりやすさ100倍のセミナーをめざします。

講師：荒川洋平

日時：2012年2月25日(土) 13:30~15:30(受付13:00開始)

会場：仙台市戦災復興記念館 4階第1会議室(仙台市青葉区大町2丁目12番1号)

定員：60名

参加費：無料

主催：丸善仙台アエル店、スリーエーネットワーク

申込み：丸善仙台アエル店 洋書フロア担当：佐藤

FAX: 022-264-0112 TEL: 022-264-0151

〒980-6101

仙台市青葉区中央1丁目3番1号 AER1階

2011年度JTMとくしま日本語ネットワーク第2回特別研修会

初級の日本語学習を終えた人たちに、「もっと日本語が上手になりたい、勉強したい。」と言われたら、どんな教材で、何を教えますか。全国で、また徳島でも多く使われている『みんなの日

本語 初級I・II』に続いて、2008年に出版された『みんなの日本語 中級I』を使い、執筆者のおひとりである牧野昭子先生をお迎えして、実践的な指導法について伺います。

講師：牧野昭子

日時：1月28日(土) 13:30~16:00(13:00受付)

会場：徳島県国際交流プラザ 大会議室(クレメントプラザ6階)

定員：50名

参加費：無料

申込締切日：1月25日(水)

主催：JTMとくしま日本語ネットワーク

協力：スリーエーネットワーク

後援：財団法人徳島県国際交流協会

徳島市国際交流協会

小松島市国際交流協会

阿南市国際交流協会

吉野川市国際交流協会

藍住町国際交流協会

石井町国際交流協会

特定非営利活動法人「美馬の里」

問い合わせ/申込み：

JTMとくしま日本語ネットワーク事務局

TEL: 088-625-8387 FAX: 088-625-5113

E-mail: jtmtokeu@nifty.com

http://homepage2.nifty.com/jtmtokeu/

Ja-Net No. 60 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) のいわゆる発展途上国の多くが存在する三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2012年1月25日発行

●発行人 小林卓爾

●発行所 (株)スリーエーネットワーク

営業広報部 Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: ja-net@3anet.co.jp

http://www.3anet.co.jp/

●印刷 日本印刷(株)

©2012 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁無断転載)

●当社は2011年11月28日に、上記住所へ移転いたしました。

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第61号は2012年4月25日発行です。

『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 本冊』

語彙・表現の増減

『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊』(現行版)との語彙の入れ替わりは以下のとおりです。なお、この変更には固有名詞は含まれていません。

表の見方

- 移動・追加された語：〈上段〉 ほかの課からこの課へ移動する語彙・表現です。()内が現行版の新出課です。
 〈下段〉 第2版で新たに取り上げる語彙・表現です。現行版では語彙として取り上げていません。
- 移動・削除された語：〈上段〉 この課からほかの課へ移動する語彙・表現です。()内が第2版での新出課です。
 〈下段〉 第2版で削除する語です。

※2012年1月25日現在の情報です。

課	移動・追加された語	移動・削除された語
1	こちらこそ [どうぞ] よろしく [お願いします]。(2課)	皆さん (15課)、電気 (14課) エンジニア
2	CD(6課)、お土産 (7課)、車 (8課) えっ、あ	こちらこそ [どうぞ] よろしく [お願いします]。(1課)、 どうも (3課)、自動車 (11課)、わたしたち (22課) テレホンカード、[カセット] テープ、テープレコーダー、 ほんの気持ちです
3	どうも (2課)、いらっしやいませ (11課)、自動販売機 (27課)	たばこ (6課)
4	映画 (6課)、試験 (12課)、会議 (13課)、へえ (18課)	どうもありがとうございました (5課)、かしこまりました (11課)、お願いします (11課)、えーと (22課) 104、お問い合わせの番号
5	どうもありがとうございました (4課)、そうですね (13課)	急行、特急
6	たばこ (3課)	CD(2課)、映画 (4課)
7	ケータイ、メール、年賀状	お土産 (2課) ファクス、ワープロ、ごめんください
8	いいえ	車 (2課)、ハンサムな (8課) 日本の生活に慣れましたか
9	いいですよ (14課)、アルバイト (21課) 貸してください、残念ですが	すみません (9課)、もしもし (25課) だめですか
10	ATM、コンビニ、コーナー、ナンプラー	フィルム、チリソース、スパイス・コーナー
11	自動車 (2課)、かしこまりました (4課)、お願いします (4課)、 留学生 (16課)、クラス (40課) 行ってきます	いらっしやいませ (3課)、それから (17課) 書留、行ってまいります
12	とり肉 (34課) 豚肉、牛肉	試験 (4課)、すごいですね (16課)、でも (19課) 疲れました

課	移動・追加された語	移動・削除された語
13		会議(4課)、そうですね(5課)、市役所(14課)、経済(15課)、寂しい(23課)、おなかがいっぱいです(20課) 登録
14	電気(1課)、市役所(13課)、使います(15課)、座ります(15課)、問題(17課)、答え(17課)、こちら(22課)	いいですよ(9課)、始めます(16課)、曲がります[右へ](23課) もう少し
15	皆さん(1課)、すみません(9課)、経済(13課) 電子辞書	使います(14課)、座ります(14課) 床屋、プレイガイド、特に
16	ハンサムな(8課)、すごいですね(12課)、始めます(14課)、見学します(18課)、電話します(20課)、出ます[お釣りが](23課) 鼻、背、インターネット、おひとり	留学生(11課)、やめます(16課) 背が高い、頭がいい、お引き出しですか、キャッシュカード、暗証番号、確認
17	それから(11課)	問題(14課)、答え(14課)、先生(医者に対する呼びかけ)(25課) 上着、下着
18		へえ(4課)、見学します(16課) 国際
19	でも(12課)	強い(21課)、弱い(21課)、調子がいい(23課)、調子が悪い(23課) パチンコ、実は
20	おなかがいっぱいです(13課) ねえ	電話します(16課)、物価(21課)、直します(24課) サラリーマン、この間
21	やめます(16課)、強い(19課)、弱い(19課)、物価(20課)、動きます(23課)、気をつけます(23課)、夢(27課)、マンガ(37課)、地球(40課)、放送(50課) アニメ、天才、久しぶりですね	アルバイト(9課)、足ります(25課) 同じ、首相、大統領、政治、むだ、ラッシュ、スピーチ、しかたがありません、しばらくですね、見ないと
22	わたしたち(2課)、えーと(4課)、ユーモア(21課)、都合がいい(26課)、都合が悪い(26課)、します[ネクタイを](34課)、では(49課) ロボット、お探ですか、ダイニングキッチン	こちら(14課)、ユーモア(22課) うーん、ダイニングキッチン、アパート
23	寂しい(13課)、曲がります[右へ](14課)、調子がいい(19課)、調子が悪い(19課)、お湯(26課) とめます[ホチキスで]	出ます[お釣りが](16課)、動きます(21課)、気をつけます(21課) 機械、外国人登録証、ごちそうさまでした
24	直します(20課)、ホームステイ(28課) 引っ越し	意味(25課) いれます[コーヒーを]、電気屋
25	もしもし(9課)、先生(医者に対する呼びかけ)(17課)、足ります(21課)、意味(24課) お体	大使館、グループ、いくら[~ても]